

各 位

会 社 名 株式会社ファンコミュニケーションズ  
代表者名 代表取締役社長 柳澤 安慶  
(コード番号 2461)  
問合せ先 執行役員社長室長 杉山 紳一郎  
(TEL. 03 - 5766 - 3530 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月12日付当社「平成21年12月期 第1四半期決算短信（非連結）」において発表いたしました平成21年12月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 12 月期業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	3,300	480	500	270	2,770 円 19 銭
今回修正 (B)	3,836	611	661	311	3,232 円 45 銭
増減額 (B - A)	536	131	161	41	—
増減率	16.2%	27.3%	32.2%	15.2%	—
(ご参考) 平成 20 年 12 月期 中間期	2,829	449	460	240	2,438 円 00 銭

#### (2) 修正理由

売上高につきましては、景気後退や一部業界での事業環境変化などによる広告予算縮小の影響が懸念されましたが、一方で費用対効果の高い広告であるアフィリエイト広告が再評価され、「すごもり消費」など消費者サイドの節約志向もネット利用促進につながり、主力サービスであるパソコン向けおよび携帯向けアフィリエイト広告サービスが順調に推移していることにより、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、売上高が前回予想数値を上回る見込みとなったことに加え、販売費及び一般管理費を対予算比で削減できていることにより、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、有価証券利息 31 百万円の計上等により、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、有価証券（ジョイント・コーポレーション社発行の社債を担保債券と

するリパッケージ債)償還不能による損失 99 百万円およびソフトウェア除却に伴う損失 31 百万円を特別損失として計上する予定であります。経常利益の増加により、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

(3) 通期 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,900	1,040	1,070	590	6,053 円 37 銭
今回修正 (B)	7,900	1,240	1,330	690	7,168 円 02 銭
増減額 (B - A)	1,000	200	260	100	—
増減率	14.5%	19.2%	24.3%	16.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	6,044	956	965	531	5,402 円 33 銭

(4) 修正理由

第 3 四半期以降についても主力サービスであるパソコン向けおよび携帯向けアフィリエイト広告サービスを中心に前回予想数値を上回る売上推移を見込んでおり、通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以 上